



ウォシュレット® 一体形便器 施工説明書

◆「ウォシュレット」は TOTO株式会社の登録商標です。

- 施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- 施工説明書内のイラストなどは、実際の商品と異なる場合があります。

必ず実施

便器洗浄水量の設定

便器洗浄ボタンを押すと自動で便器洗浄水量を設定します。

➡裏面「**試運転**」**2**便器洗浄水量の設定」を参照

施工業者様へ

試運転を実施してください。

確認① 自治体によって洗浄水量の規制がある場合

- 大洗浄4.8 L、小洗浄3.4 L仕様を「大洗浄6 L、小洗浄4 L」または「大洗浄8 L、小洗浄5 L」に変更することができます。

➡裏面「**洗浄水量の切り替え**」参照水たまり面が低下した場合の変更方法は、解除(元の仕様に戻す)してから「**洗浄水量の切り替え**」の設定をしてください。

また、確認①の設定をしている場合は、確認②の設定は不要です。

確認② 確認①で設定変更してない場合

大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認してください。

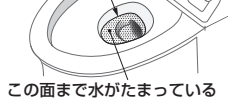
※「自治体によって洗浄水量の規制がある場合」の設定をしている場合は、この設定は不要です。

正常な状態

設定変更は不要です。

(設定を行うと、洗浄不良になる場合があります。)

正常な水たまり面



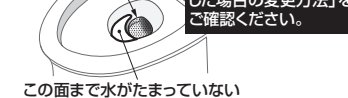
この面まで水がたまっている

水たまり面が低い状態

設定変更を行ってください。

(水たまり面を正常な状態にすることができます。)

水たまり面が低い



この面まで水がたまっていない

<水たまり面の判断に迷ったときは…>

ペットボトルやノックなどを徐々に水をたし、水たまり面が上昇しない場合は正常です。水たまり面が低いと汚物付着の原因になります。排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

ガイドプレートありの場合

- 従来のものとウォシュレット本体の仮置き状態が異なります。

ウォシュレット本体を便器に置いたとき、すき間がありません。



すき間があります。



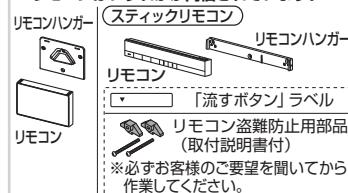
ガイドプレート施工時に手が触れたりしないようご注意ください。

同梱部品

※使用しない場合は、必ずお客様にお渡しください。 ※リモコンは機種によって異なります。

リモコン部品

※リモコンはいずれかが同梱されています。



※必ずお客様のご要望を聞いてから、作業してください。

止水栓 (フィルター付)



※必ず同梱の止水栓を取り付けてください。

取付ボルト組品



ロータンクパッキン



印刷物



安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

給表示の例 ❶ してはいけない「禁止」の内容です。 ❷ 必ず実行していただく「強制」の内容です。



警告 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。

- 浴室など湿気の多い場所には設置しない (火災、感電、発熱、ショートの原因になります。)
 - 指定する電源 (交流100 V) 以外では使用しない (火災や発熱の原因になります。)
 - 電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままでは使用しない (火災や感電の原因になります。)
 - 飲用可能な水以外には使わない (故障や皮膚の炎症などを起こす原因になります。)
 - コンセントは給水位置の真下に設置しない (結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
 - 給水ホースは、電源プラグ・コンセントに接触させない (結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
 - 車輛・船舶など、移動体への設置はしない (火災や感電、ショート、故障などの原因になります。)
 - (便座・便ふた・ウォシュレット本体などははずれて落下し、けがをする原因になります。)
 - 電源プラグは根元まで確実に差し込む (電源プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や発熱、ショートの原因になります。)
- <2Pプラグの場合>
- アース (D種接地) を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)
- <3Pプラグの場合>
- 必ず接地コンセントに差し込む (変換アダプタなどを使用し、2口のコンセントに差し込むと、感電の原因になります。)



注意 傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。

- 便座・便ふたを持って製品を持ち上げない (ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
- 給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない (水漏れの原因になります。)
- 止水栓を開けたまま、給水フィルター、給水フィルター付水抜栓を取りはずさない (水が噴き出します。)
- 施工は施工説明書に従って確実に行う (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
- 給水フィルター、給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは、確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)
- 電池の+-表示をよく確かめて入れる (電池の液漏れ、発熱、破裂や発火の原因になります。)
- 長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出しておく (電池の液漏れの原因になります。)
- ナット (固定用) (4カ所) を確実に締める (ナット (固定用) がしっかり締まっていないと、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。)
- クイックファスナーの取り付けを確実に行う (正しく取り付けないとクイックファスナーがはずれて水漏れの原因になります。)

取り付け前のご注意

1. 製品への通電および通水は取付作業をすべて終わってから行ってください。
 2. 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
 3. ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
 4. 定格15 A以上、交流100 V (50/60 Hz) の埋込アースターミナル付コンセント (3Pプラグの場合は、接地コンセント) を単独で使用してください。 (電源や定格消費電力は、ウォシュレット本体背面のラベルに記載しています。)
 5. 自家発電装置などから電源を供給すると、正常に作動しない場合があります。
 6. 電源コードの長さはウォシュレット：約1.0 m、ヒーター付便器：約1.1 mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
 7. 給水圧力範囲は0.05 MPa (流動時) ~ 0.75 MPa (静止時) です。この圧力範囲でご使用ください。給水圧が低いとタンクに水がたまる時間が長くなる場合があります。
 8. 給水温度は0 ~ 35 °C です。この温度範囲でご使用ください。
 9. 同梱以外の止水栓、パッキンを使わないでください。
 10. 商品セット図は、専用カタログをご確認ください。
- ※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

給水ホースの長さが足りない場合

給水ホースの長さは約535 mmです。もし給水ホースの長さが足りない場合は、右図の給水ホースをご購入ください。

給水ホース長さ違い一覧表

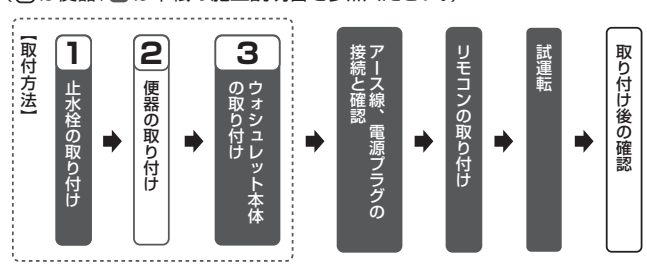
給水ホース長さ (mm)	品番
785	TCA472

●仕様・品番・希望小売価格などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

施工手順

この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。

(○は便器、●は本紙の施工説明書を参照ください。)



試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

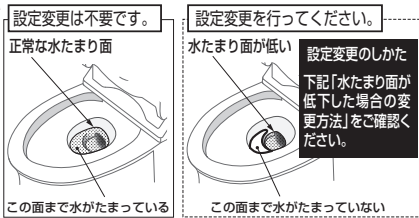
3 機能の確認

□ 便器洗浄時にウォシュレット本体底面から水漏れなどの異常がないかを確認しましたか

□ 水たまり面が低下していませんか

大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認してください。
※「自治体によって洗浄水量の規制がある場合」の設定をしている場合は、この設定は不要です。

詳しくは、
表紙 施工業者様へ
「確認②」参照

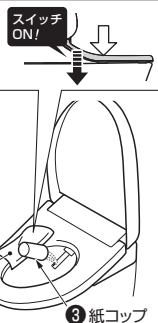


□ ノズルから洗浄水が出ますか

2 便座の左側を手で押し、着座スイッチを入れる (6まで着座スイッチを入れたままにしてください。)

4 「おしり」ボタンを押す
5 手を便座からはなす

1 水でぬらしたやわらかい布 (傷つきを防ぐため)
3 紙コップ



□ リモコンで便ふたがきちんと開きますか (オートふた開閉付のみ) ※3回続けて開いた位置を記憶します。

便ふたが途中で止まるようになった場合



- 障害物を取り除く ※便ふたとケースカバーの間に緩衝材がある場合は、取り除いてください。
- 電源プラグを抜き、5秒後に差し込む
- リモコンの「便ふた開閉」ボタンを押す

洗浄水量の切り替え (自治体によって洗浄水量の規制がある場合)

●大洗浄4.8 L、小洗浄3.4 L仕様を下記水量に変更することができます。

シンプルリモコンの場合

大洗浄 6 L、小洗浄 4 L にするとき

- リモコンランプがすべて点滅するまで押す (約10秒)
●リモコンのランプが全点滅します。

水勢 + と 温水 を同時に押す

大洗浄 8 L、小洗浄 5 L にするとき

ノズルそじ 入切 と 温水 を同時に押す

スティックリモコンの場合

大洗浄 6 L、小洗浄 4 L にするとき

リモコン裏面のボタンで操作します。

- STOP を10秒以上押す
●「施工者モード」画面が表示されます。
- ▲▼で「便器洗浄水量切替」を選び □ を押す
- ▲▼で「便器洗浄水量切替②」を選び □ を押す

▲▼で「便器洗浄水量切替③」を選び □ を押す

「ビッ」という電子音が鳴ります。



STOP を押す*1

(元の仕様に戻す場合は同じ操作を行い、②で「ビッ」という電子音が鳴れば設定完了です。)

水たまり面が低下した場合の変更方法

●大洗浄4.8 L、小洗浄3.4 Lの洗浄水量は変わりません。

シンプルリモコンの場合

- STOP を10秒以上押す
●「施工者モード」画面が表示されます。
- ▲▼で「便器洗浄水量切替」を選び □ を押す
- ▲▼で「便器洗浄水量切替①」を選び □ を押す

水勢 - と 温水 を同時に押す

スティックリモコンの場合

リモコン裏面のボタンで操作します。

- STOP を10秒以上押す
●「施工者モード」画面が表示されます。
- ▲▼で「便器洗浄水量切替」を選び □ を押す
- ▲▼で「便器洗浄水量切替①」を選び □ を押す
- STOP を押す*1

「ビッ」という電子音が鳴ります。



STOP を押す*1
(元の仕様に戻す場合は同じ操作を行い、②で「ビッ」という電子音が鳴れば設定完了です。)

STOP を押す*1
(元の仕様に戻す場合は同じ操作を行い、③で「ビッ」という電子音が鳴れば設定完了です。)

*1 変更した場合、便器洗浄してから約1分後に便器水たまり面の高さに戻すために水を補給します。

給水フィルター・給水フィルター付水抜栓の掃除 (試運転後)

【便器側】

1

電源プラグ

閉める

止水栓

開める

2

配管を手で支えて行う

給水フィルター

ふた

開閉工具

3

水漏れチェック

全開

2 「ノズルきれい」ボタンまたは「ノズルそじ」ボタンを押す

●「ノズルそじ」ボタンを押したときは、もう一度「ノズルそじ」ボタンを押し、ノズルを戻してください。

■スティックリモコンのとき
リモコン裏面のボタンで操作します。

- MENU/RETURN を押す
- ▲▼で「お手入れ」を選び □ を押す
- ▲▼で「ノズルそじ開始/停止」を選び □ を押し、ノズルを出した後、もう一度 □ を押し、ノズルを戻す ※給水管内の圧抜きです。

【ウォシュレット側】

1

開める

2

3

4

5

6

7

8

9

「カチッ」と音がするまで押し込む

2 「ノズルきれい」ボタンまたは「ノズルそじ」ボタンを押す

●「ノズルそじ」ボタンを押したときは、もう一度「ノズルそじ」ボタンを押し、ノズルを戻してください。

■スティックリモコンのとき
リモコン裏面のボタンで操作します。

- MENU/RETURN を押す
- ▲▼で「お手入れ」を選び □ を押す
- ▲▼で「ノズルそじ開始/停止」を選び □ を押し、ノズルを出した後、もう一度 □ を押し、ノズルを戻す ※給水管内の圧抜きです。

2

水漏れチェック

全開

製品引き渡しまでの期間が長い場合 ※必ず水抜きをしてください。(故障の原因)

1

- 流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)のとき
止水栓または元栓を開める
- ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
水抜栓を操作して、給水を止める
お願い 止水栓は開けたままにしてください。

2

タンクの水を抜く
リモコンの「大洗浄」ボタンを押す

3

配管の水を抜く
(給水フィルター・給水フィルター付水抜栓の掃除 (試運転後))
【ウォシュレット側】1 - 2 3 4 5 6 8 9 項参照
※電源プラグは抜いたままにしてください。

■凍結のおそれがあるときは
・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分するようにお客様にお伝えください。)

施工業者様へ

●取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。

●ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。

●新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いてください。